

資料3 令和2年度 第2回 いじめ実態調査

8月～11月末

全校

【いじめの定義】

児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの当該児童生徒が、一定の人間関係のあるものから、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの

1 いじめ実態把握のための調査方法 【校】

	小学校	中学校
ア アンケート調査	16	9
イ 教育相談(面談)	16	9
ウ 生活記録相談ノート等	3	6
エ 相談ポスト	7	2
オ その他	3	0

2 いじめの認知状況

【認知件数】

【件】

【参考】平成30年度7月～11月調査結果

		すべて	定義
小学校	すでに解消しているもの	43	39
	一定の解消が図られたが継続支援中のもの	92	85
	解消に向けて取組中のもの	13	13
	合計	148	137
中学校	すでに解消しているもの	39	19
	一定の解消が図られたが継続支援中のもの	60	39
	解消に向けて取組中のもの	19	19
	合計	118	77

すべて	定義
110	53
97	85
27	24
234	162
84	52
61	58
39	30
184	140

いじめ1,000人当たりの認知件数…小:17.6 中:28.1 全:21.1

【認知状況分布】

【校】

	0件	1～5件	6～10件	11～15件	16～20件	21～25件	26～30件	31件以上
すべて(小)	2	5	3	4	0	1	0	1
定義(小)	2	5	4	3	0	1	1	0
すべて(中)	0	2	2	1	3	0	0	1
定義(中)	1	5	1	0	1	0	0	1

3 いじめの事実を最初にどのようにして見つけたか

【件】

		小学校		中学校	
		すべて	定義	すべて	定義
学校	学級担任	15	15	3	2
	担任以外の教職員	2	1	0	0
	カウンセラーや相談員	0	0	1	1
	養護教諭	0	0	0	0
	アンケート調査	34	33	82	49
学校以外	本人から	53	45	22	16
	本人の保護者から	32	32	6	5
	他の児童生徒から	11	10	4	4
	他の保護者から	1	1	0	0
	第三者から	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
合計		148	137	118	77

4 学校が行ったいじめ問題に対する日常の取り組み

【校】

	小学校	中学校
職員会議等で教職員の共通理解	16	9
道徳・学活等で取り上げ指導	16	9
全校集会・学年集会等で指導	12	7
児童・生徒会活動等を通していじめ問題を考えさせる	3	0
人間関係づくりや仲間づくりを促進する活動	15	8
カウンセラー、相談員、養護教諭による相談	15	8
教育相談体制などの校内組織の整備	13	7
学校以外の相談窓口の周知など専門機関との連携	9	6
いじめ対応方針や指導計画の外部への公表	12	9
P T A・地域関係団体とともにいじめ問題について協議	2	3
地域の関係機関との連携協力	3	3
学級通信・学年通信・学校通信等での取り扱いによる意識高揚	5	3
その他	1	0

5 校内いじめ対策委員会の開催数

【校】

	1回	2回	3回	4回	5回以上
小学校	12	2	1	1	0
中学校	4	1	1	2	1